

八戸市地域おこし協力隊活動状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 福岡 沙織

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年11月分】

1. 実施した活動の概要・状況

ふるさと寄附金業務・返礼品相談、ECサイト・ローカルマーケットオンラインショップ運営、メディアリレーション、及びSNSによる広報活動を行った。

(主な活動)

◇メディア招聘ツアー

八戸圏域の認知度向上に向けたメディアリレーション業務の一環である、メディア招聘ツアーに同行した。

今回は、雑誌Hanakoやクロワッサンを手掛ける出版社の株式会社マガジンハウスから、及川氏と山尾氏を招いた。八戸圏域の観光資源を確認してもらい、最終日には、当団体及び八戸圏域の広報担当職員を対象に「ユーザー視点で捉える地域観光プロモーションの考え方」についてご講演いただいた。

私に対応した案内2日目は、三陸復興国立公園の寺下観音、階上岳、そして種差天然芝生地から蕪島までの景色やグルメを紹介した。案内をする中で、編集者目線で八戸圏域の観光資源に対する意見を聞くことができた。特に、八戸市を代表する観光資源である種差海岸は、立ち寄りスポットとしては定番であるが宿泊施設がほとんどなく、多くの観光客を誘致するのは難しいという指摘があった。宿泊施設の不足を解決する策として、ホテル建設は莫大な費用を要するため難易度は高いが、それだけではなく、民泊利用や既存建物の再利用など様々な方法があり、日本全国にある事例や利用できる制度について助言を得た。

最終日の講演は、2日間のメディア招聘ツアーを踏まえて行われ、八戸圏域には多くの観光資源があり伝えるべき情報も沢山あるが、ユーザーが求めていることを選別し、ターゲットへの的確に情報を提供できるかが最も重要であることがわかった。これにより、短期的ではなく中長期的にユーザーのニーズを満たし続けることができ、いずれは実際に八戸圏域に来てくれるような顧客の獲得に繋がることを学んだ。

今回の経験で得た知識を日頃の業務に活かし、八戸圏域のファンが増えることを目標に取り組んでいきたい。



三陸復興国立公園の種差海岸（八戸市）と寺下観音（階上町）

2. 翌月の活動予定

ふるさと寄附金業務・新規返礼品提案、EC サイト修正業務、SNS 発信、イベント運営、ラジオ出演。